

ふれあい

No. 10

編集発行

上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

日頃より、当校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今回は、当校が毎年行っている学級編制（クラス替え）について、その考え方をお伝えします。

学級編制は、毎年行います

学級編制については、「友達関係が安定しているので、このままがよい」「環境の変化が心配である」といった声がある一方で、「人間関係を広げてほしい」「新しい環境で成長してほしい」といったご意見もいただいています。学校としては、こうした多様なお気持ちを大切に受け止めながら、教育的観点から検討を重ねています。

当校では、次のような理由から、原則として毎年学級編制を行っています。

一つ目は、人間関係の固定化を防ぎ、幅広い人とのかかわりを育てるためです。小学校時代は、友達との関係の中で社会性や協調性を身に付けていく大切な時期です。様々な友達と出会い、協力したり意見を伝え合ったりする経験は、子どもたちの成長にとって大きな意味をもつと考えています。

二つ目は、子ども一人一人を多面的に理解し、複数の教職員で支えていくためです。学級担任が変わることで、異なる視点から子どもを見ることができ、よさをより広く見だし、伸ばすことにつながります。また、学年や学校全体で情報を共有しながら支援を行いやすくなります。

三つ目は、新しい環境に適応する力を育てるためです。環境の変化に不安を感じる子もいますが、教師が丁寧にかかわり、友達づくりを支援する中で、「新しい環境でもやっていけた」「新しい友達ができた」という経験を積むことができます。こうした力は、今後の学校生活や社会生活においても大切な力になります。

四つ目は、人間関係の行き詰まりや不適応を予防し、関係を再構築する機会をつくるためです。子ども同士の関係は日々変化しており、ときには行き違いや誤解から、学校生活に不安を感じるようになることもあります。学級編制は、そうした関係を一度整理し、新たな出会いの中で再出発できる機会にもなります。学校としては、いじめや不登校を未然に防ぐという観点からも、学級集団を固定し続けられないことには大きな意味があると考えています。

大規模校の利を生かす

文部科学省の参考資料では、小規模校の課題の一つとして「クラス替えができず、人間関係が固定化しやすいこと」が示されています。これは、人間関係の固定化が、子どもの成長や学級集団の形成において課題となることを意味しています。

上越市には、学級編制を行うことができない小規模校が多いという現状があります。その中にあって、当校のように複数学級を編制できる環境にある学校が学級編制を行うことは、その利点を生かし、子どもたちによりよい成長環境を整えるために重要な取組であると考えています。

また、2017年に実施されたベネッセ教育総合研究所の全国調査では、保護者の約6割が「毎年クラス替えを行っている」と回答しており、学級編制は子どもの成長を支える手立てとして、全国的にも広く受け止められていることがうかがえます。

子どもの学校生活には、うまくいく時期もあれば、悩んだりつまずいたりする時期もあります。そのような中で学校として大切にしているのは、特定の環境に固定することではなく、様々な友達や様々な教師と出会い、その中で少しずつ適応する力や人間関係を築く力を育てていくことです。

学級担任が変わることや、学級編制によって環境が変わることは、子どもにとって負担に感じられる場合もありますが、結果として新たなよさが引き出されたり、これまで気付かなかった力が伸びたりすることが多く見られます。こうした経験は、子どもたちの成長にとって大きな意味をもつものと考えています。

学級編制や担任配置を考える際には、一部の状況だけを見るのではなく、学年全体の状況や児童一人一人の育ちを踏まえて判断することが重要です。このため、個別のご要望のみで判断するのではなく、児童の様子を多面的に捉えながら、学年・管理職・関係職員で協議を重ね、学校として責任をもって決定しています。

また、全てを一律に進めるのではなく、友人関係や心身の状態などに特別な配慮が必要な場合には、状況を丁寧に把握した上で、可能な範囲での対応を検討しています。学級編制は、子どもたちにとってよりよい学習環境を整えることを目的として行うものです。

今後も、子どもたちが「よりよく かかわる」力を高められるよう一人一人の成長を第一に考えた学級編制、学級づくりに努めてまいります。

令和8年度 学級数の見通しについて

令和8年度の学級編制について、現時点での見通しをお知らせします。

当校の全校児童数は、昨年度722人でしたが、今年度700人を割り、次年度は666人と大きく減少する見込みです。児童数の減少に伴い、学年の学級数を維持することが年々難しくなっています。

学級数は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（標準法）」に基づき、原則として1学級の上限を35人として決められています。また、新潟県では、低学年に配慮した少人数学級を実現するための施策がありますが、低学年の児童数が大幅に減少していることから、学級数をこれまでどおり維持することが難しくなっているのが実情です。

これらの基準に基づいて試算すると、令和8年度は、1・2・6年生が3学級となる可能性があります。学校としては、可能な限り学級数を維持し、きめ細かな指導体制を確保するよう努めたいと考えていますが、現時点では、少なくとも6年生が3学級となる見込みです。

今後も児童数の動向や教職員の配置によって学級数が変動する可能性があることについて、ご理解を賜りますようお願いいたします。

3学年 つばさ

<のびやか活動>

出陣！！つばさ探検隊
～春日山の宝を見つけよう～

春日山探検を何度も行い、季節ごとに移り変わる自然を五感で感じることができました。2学期からは、子どもたち一人一人の興味・関心に応じた活動に分かれ、それぞれが追究テーマをもって学習に取り組みました。



春日山古道を歩いて探検し、生き物を観察したり、青苧から紙すきを体験したりしました。多様な活動を重ねる中で、春日山の魅力を感じ、「たくさんの宝がある」と気付くことができました。



4学年 かがやき

<かがやき 4年生 学年目標>

笑顔☆輝け!!

<のびやか活動テーマ>

出陣！かがやき探検隊

～春日山の宝を未来へ～

のびやか活動では、春日山を探検する中で、春日山を守っている方々に会い、自分たちも春日山を未来へ繋ぐための活動を行いました。また、防災学習では、いろいろな人に支えられて生活していることに気付いたり、親子学習会では命の大切さを学んだりしました。

～松葉かき～



～防災学習～



～親子思春期講座～



～境内清掃～



～義の土運び～



～登山道清掃～

